

平成26年度病害虫発生予察指導情報
(ラッキョウ：灰色かび病)

平成26年5月2日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

ラッキョウほ場の、灰色かび病の発生が多くなっている。発生ほ場では追加防除を行う。

2 情報の根拠

- (1) 4月30日現在、定点調査ほ場における灰色かび病の平均発病株率は17.5%（3月末：1.5%）で、特に県中部で発生量が多い（表1）。
(2) 4月下旬の降雨により今後、発生量が増加することが見込まれる。

3 防除上注意すべき事項

- (1) 薬剤はカンタスドライフロアブル1,500倍液、ダコニール1000の1,000倍液、フロンサイド水和剤2,000倍液などを使用する。また、収穫期が近づいているため、農薬の使用基準を遵守する。
(2) 降雨後には、枯れた葉上に多数の分生孢子を形成するので、降雨後の防除が重要である。
(3) 茎葉が繁茂したラッキョウは、株元に薬液がかかりにくい状態となっているので、特に丁寧に薬剤散布する。

表1 ラッキョウほ場における灰色かび病の発病状況（4月30日調査）

地 点	調査ほ場 数	発生ほ場数	発生ほ場率(%)	発病株率(%)
福 部	5	5	100	14.2(2.6)
北 栄	5	5	100	20.7(0.4)
合 計	10	10	100(90)	17.5(1.5)
(参) 平年値	-	-	84.6	3.9

※()内の数値は前回調査時(3月末)の平均値

(参) 平年値: 4月上・中旬調査をした値、H15年～23年の平均値

表2 ラッキョウ灰色かび病の防除薬剤（平成26年4月30日現在の農薬登録内容）

薬剤名	希釈倍数	使用回数	使用時期
カンタスドライフロアブル	1500 倍	3 回以内	収穫前日まで
ダコニール 1000	1000 倍	3 回以内	収穫 14 日前まで
フロンサイド水和剤	2000 倍	5 回以内	収穫 14 日前まで